

授業科目名	人権・平和教育論
科目番号	CB25091
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春AB 木5,6
担当教員	田中 マリア
授業概要	人権・平和に関する一般的な知識を学ぶ。とくにグローバル化のなかで、国際社会においてスタンダードとなっている人権教育と、日本にみる平和教育について考える。
備考	対面での実施を予定しているが、受講者の人数や教室の確保などが難しい場合にはオンラインになる場合もあるため登録前に確認しておくこと。 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス「心身の健康と人間性・倫理性」 専門コンピテンス「教育学の基礎的体系的知識」「教育学における総合的思考力」
授業の到達目標（学修成果）	人権・平和について一般的な知識を習得し、現代的な諸課題を射程にいれながら、国際的な視野に立った価値教育の在り方を考えることができる。
授業計画	人権・平和に関する一般的な知識を学ぶ。とくにグローバル化のなかで、国際社会においてスタンダードとなっている人権教育と、平和教育について考える。(2022年は開講) 第1回 ガイダンス 第2回 人権・平和とは 第3回 人権・平和教育の歴史的変遷1 第4回 人権・平和教育の思想的源流1 第5回 人権・平和教育の歴史的変遷2 第6回 人権・平和教育の思想的源流2 第7回 人権・平和教育の動向1 第8回 人権・平和教育の動向2 第9回 人権・平和教育の指導法1 第10回 人権・平和教育の指導法2 第11回 人権・平和教育の実践例1 第12回 人権・平和教育の実践例の検討1 第13回 人権・平和教育の実践例2 第14回 人権・平和教育の実践例の検討2 第15回 人権・平和教育の実践例3 第16回 人権・平和教育の実践例の検討3 第17回 人権・平和教育の実践例4 第18回 人権・平和教育の実践例の検討4 第19回 人権・平和教育の総括 第20回 人権・平和教育の今後の課題
履修条件	特になし
成績評価方法	毎回のコメント40%、レポート60%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	各回の授業内容に関連した調べ学習や意見交換など。
教材・参考文献・配付資料等	適宜、指示する
オフィスアワー等（連	メールで問い合わせてください。

絡先含む)	
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	積極的に学んでほしい。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	人権, 平和, 国際社会, 価値教育